

気候変動リスクへの対応

リスクの特定

気候変動によって将来もたらされる社会や環境の変化を想定し、リスクを洗い出しております。商工中金が想定する気候変動リスクの概要は以下の通りです。

移行リスク	物理的リスク
<p>低炭素社会へ移行していく過程で生じるリスク</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>政策・規制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 炭素税の導入 温室効果ガス排出目標に係る規制強化 </div> <div style="width: 45%;"> <p>市場・技術の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネ・EV等の新技術の開発・選択・普及 既存製品の陳腐化、需給変化 </div> </div> <p>お客様のビジネスモデルや企業業績に影響を与え、商工中金の与信コストが増加するリスク</p> <p>社会的要請の高まり</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動問題への社会的関心の高まり 企業に対する取組みや開示の要請 <p>商工中金において気候変動への取組みや開示が不十分とみなされると、レピュテーションが毀損し、資金調達が困難になるリスク</p>	<p>自然災害の激甚化や気候の変化によって生じるリスク</p> <p>急性リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> 台風・豪雨・洪水等の風水災の発生 <p>お客様が被災した場合、企業業績に影響を与え、与信コストが増加するリスク 商工中金が被災した場合、事業継続が困難になる、あるいは対策・復旧のためのコストが増加するリスク</p> <p>慢性リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均気温や海面の緩やかな上昇 <p>熱中症や感染症の増加、生態系の変化等により、マクロ経済が悪化し、商工中金の与信コストが増加するリスク</p>

特に、信用リスク*1・風評リスク*2は経営上の影響が大きい重要なリスクと考えております。お客様へのエンゲージメント等を通じたサポートや、シナリオ分析等を通じたリスク管理の強化により、リスクの低減を図ります。

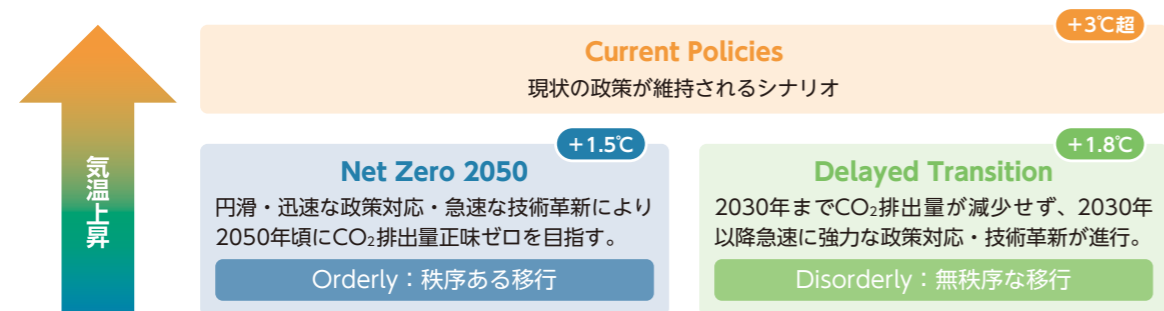
*1 低炭素社会への移行が進む中で、お客様のビジネスモデルが負の影響を受け、商工中金の与信コストが増加するリスク
*2 気候変動問題への取組みや開示が不十分とみなされ、商工中金のレピュテーションが毀損するリスク

シナリオ分析の実施

気候変動に対する組織のレジリエンス（強靱性）を高めていく観点で、移行リスクや物理的リスクが顕在化した場合に、事業環境がどのように変化し、経営にどのような影響を及ぼすかについて、シナリオ（仮説）を使って分析を行っています。

【使用シナリオ】

移行リスク・物理的リスクのシナリオ分析において、NGFS（気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク）が策定した3つのシナリオ（Net Zero 2050・Delayed Transition・Current Policies）を使用しています。それぞれのシナリオの世界観は下図の通りです。



移行リスク

気候変動影響・ポートフォリオ上のエクスポージャーの大きさを考慮のうえ、セクターを選定し、移行リスクに伴う与信関連費用の増加額を推計しています。

分析対象セクターの選定プロセス

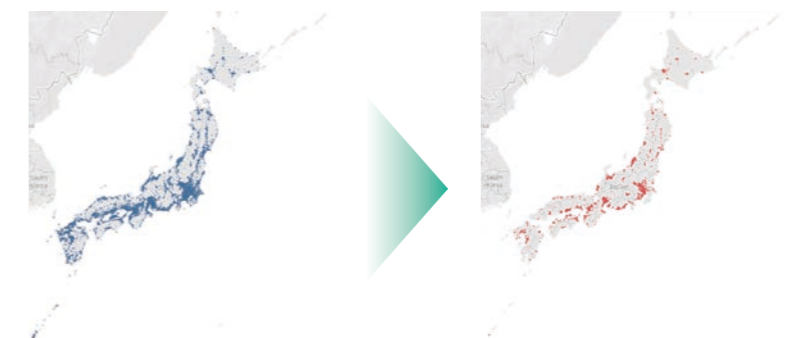
TCFD提言における炭素関連資産セクターのうち、貸出残高が一定以上のセクターについて評価を実施。セクターごとの気候変動影響（移行リスク）、商工中金の投融資等の残高を踏まえ、「自動車及び部品」・「トラックサービス」・「金属・鉱業」の3セクターを分析対象に選定しています。

分析対象セクターの定性評価（主な移行リスク）

自動車及び部品	<p>【法規制】炭素税の導入（製造過程のCO₂排出量等への炭素税）</p> <p>【技術・市場】電動車への転換（エンジン部品等のダウンサイジング）</p> <p>【評判】顧客志向の変化（消費者・完成品メーカーの低炭素志向）</p>
トラックサービス	<p>【法規制】炭素税の導入・GHG排出規制の強化</p> <p>【技術・市場】電気トラックへの転換（車両価格上昇・積載量減少）</p> <p>【評判】顧客志向の変化（低炭素転換を企図したモデルシフト等）</p>
金属・鉱業	<p>【法規制】炭素税の導入（製造過程のCO₂排出量等への炭素税）</p> <p>【技術・市場】電力価格上昇・低炭素技術導入に伴う原料・製造費用上昇</p> <p>【評判】顧客志向の変化（消費者・販売先の低炭素志向）</p>

物理的リスク

全融資先の所在地情報から台風等による水災により浸水が起き得る先を特定。浸水が起き得る融資先ごとに、水災の発生確率から財務内容を推計し、債務者区分の変遷から与信関連費用の増加額を算出しています。



【シナリオ分析の結果】

	移行リスク	物理的リスク
分析対象	「自動車及び部品」・「トラックサービス」・「金属・鉱業」の各セクターに属する融資先のうち、直近で債務者区分を有する先。	浸水が起き得る融資先のうち、直近で債務者区分を有する先。
使用シナリオ	NGFSシナリオのうち、Net Zero 2050・Delayed Transition・Current Policiesの3シナリオ	
分析結果	2050年時点の与信関連費用の増加額 単年度ペースで最大50～60億円	2050年までの与信関連費用の累計額 最大180億円程度